

# 産学官連携ガイド

産学官連携にチャレンジしてみたい中小企業の皆様へ

## 目 次

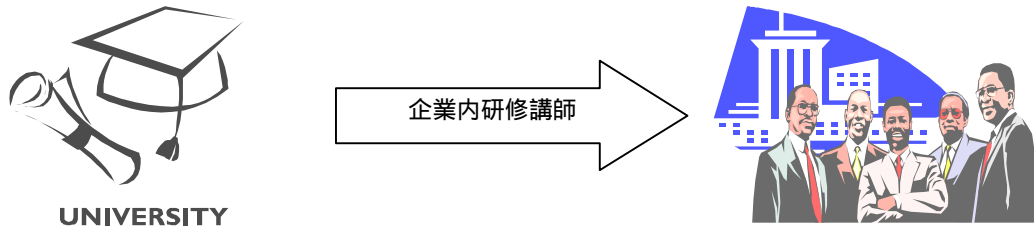
- 1 産学官連携とは
- 2 企業側から見た連携のメリット
- 3 産学官連携の進め方
- 4 産学官連携成功のポイント
- 5 産学官連携を推進している研究会
- 6 産学官連携が可能な技術開発テーマ
- 7 大学主催のセミナー・イベント等の情報
- 8 産学官連携の例
- 9 相談窓口

### 1 産学官連携とは……

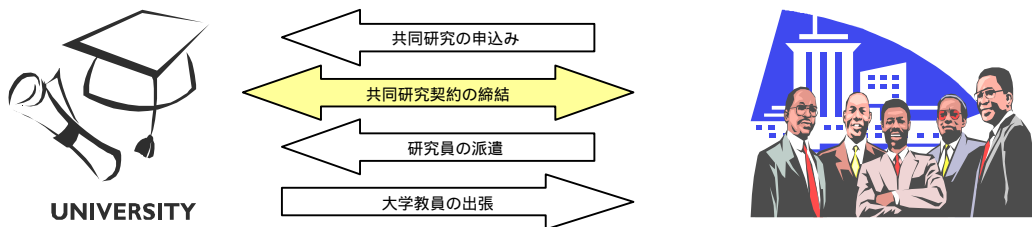
産学官連携とは、大学や研究機関が持つ研究成果や教授等の知識・経験などを、民間企業が活用し、経営の改善に生かしたり、製品化・実用化に結びつけたりする仕組みです。

中には行政が両者を結びつけたり、共同で技術開発したりする場合があります。  
大学を活用する方法としては、以下のような形態があります。

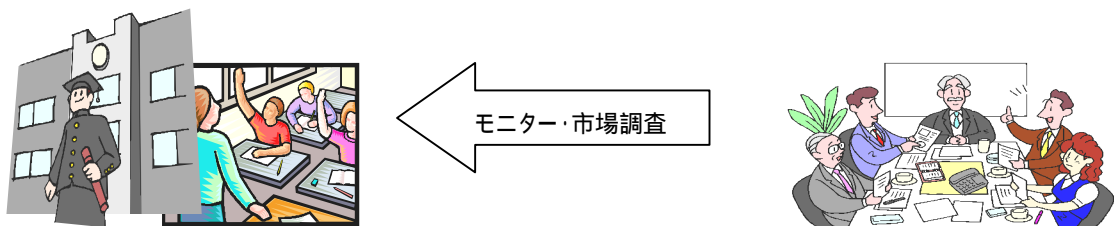
- (1) 大学主催のセミナーに、企業経営者や管理者、研究員、従業員が参加する。
- (2) 企業内研修に大学の先生を招く。



- (3) 大学に企業の経営手法や技術課題の相談をする。
- (4) 大学の研究成果(特許)を使用する。
- (5) 大学と共同研究開発を行う。



- (6) 大学に試験・分析を依頼する。
- (7) 学生にモニターや市場調査を依頼する。



以上のように、産学官連携には様々な形態の連携方法があり、これらを通じて企業が自社に不足する新しい技術や経営理論を取り入れ、技術力の強化や企業戦略の構築に役立てるものです。

「産学官連携」の定義については、企業と大学、行政の三者が連携して行う共同研究を指す場合や、企業と大学との間を行政が結びつけるケースをそのように呼んだりする場合があります。

県では、世界に通用する技術や製品、部品などを民間企業同士が連携して開発したり、一社単独では解決できない課題を解決したりするために民間企業同士が連携したりすることも、広い意味では産学官連携の一形態であると考えていますが、このガイドは大学と企業の連携、またはその連携を行政が支援する形態を中心に記載しました。

## 2 企業側から見た連携のメリット

産学官連携による企業のメリットとしては、大学にある新技術や経営理論を自社の経営資源として活用し、新製品開発やコストダウン、販路開拓等を進め、経営の向上につながることであります。

産学官連携は、あくまで企業の課題解決、目標達成のための手段です。

具体的には次のとおりです。

- (1) 研究開発に必要な施設、人材、時間、資金等の一部分を省くことができる。
- (2) 最先端の技術動向、経営ノウハウ等が入手できる。
- (3) 先生の人的ネットワークの活用により、情報源が広がる。
- (4) 共同研究等により、開発プロセスの習得及び社員の人材育成につながる。
- (5) 学生など優秀な人材の確保につながる。
- (6) 大学の施設、設備機器等が使用できる。
- (7) その他不足するマーケティングや経営資源を補うことができる。

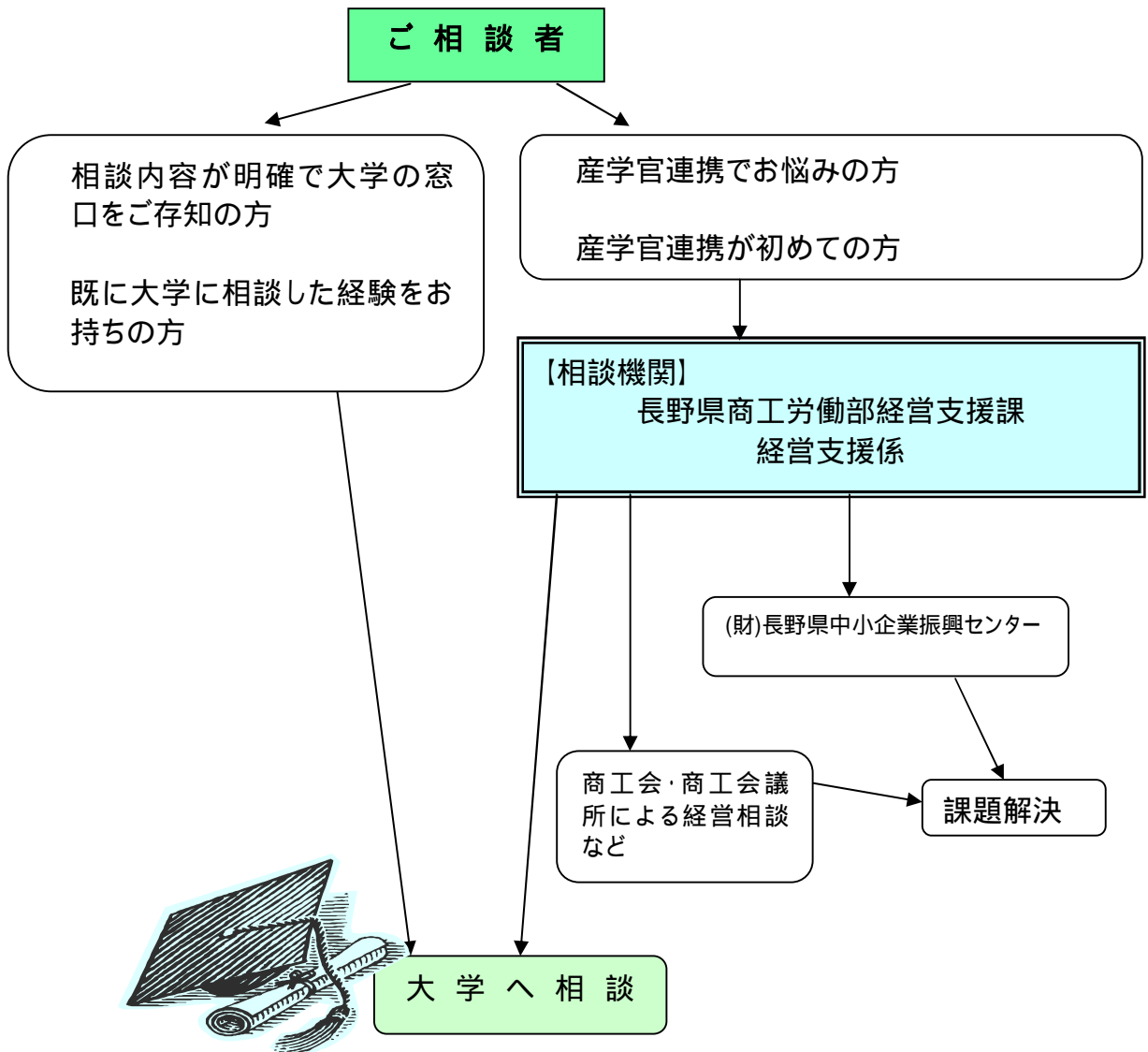
### 3 産学官連携の進め方

#### (1)人文系分野

産学官連携をやってみたいけれどどうしたらいいのか、どの大学に相談すればいいのかなど様々な悩みをお持ちの方は、長野県商工労働部経営支援課経営支援係にまずご相談ください。ご相談の内容に応じて、適切な大学の紹介、県中小企業振興センターを通じた専門家の派遣、あるいは課題の解決に最も適した支援機関の紹介などのサービスを提供します。

ただ、「産学官連携で大学と付き合いえば、ひょっとしたら何かいい話が転がっているかもしれない」という淡い期待は持たない方が賢明です。あくまでも明確な目標達成のために自社にないもの、不足するものを、大学を活用して補うというスタンスが必要です。

#### 【人文系分野の相談フロー】



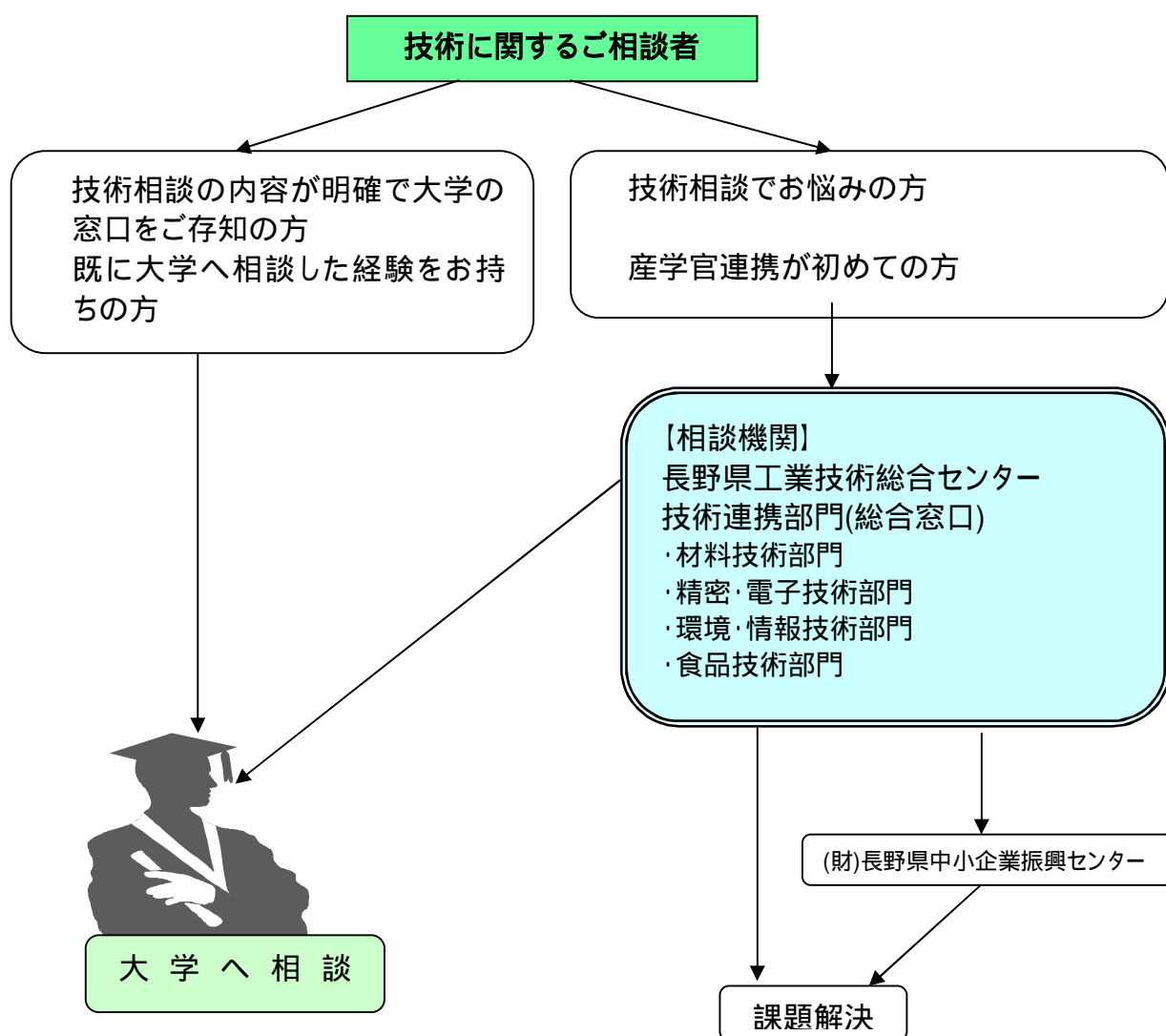
## (2)技術系分野

既に大学との産学官連携を経験しており、大学とのパイプのある方は直接大学へ相談することが可能ですが、初めてでちょっと不安のある方、自社の課題を解決できる先生が誰かわからないので紹介してほしいと思われる方は、長野県工業技術総合センター技術連携部門へ相談してみることをお勧めします。

ここで注意すべきことは、大学に課題を相談したとしても、「自社の中核となる技術力、事業を行うための独自のノウハウや強み」(コア・コンピタンス)がはっきりしない企業は、産学官連携による効果はあまり期待できません。

大学の最大の魅力は最新の「知」の保有であり、自社に不足する「知」を大学から獲得して補っていくことが産学官連携の本質です。

### 【技術系分野の相談フロー】



## 4 産学官連携成功のポイント

大学に連絡をとる際は、話の要点を事前によくまとめておいてから連絡をとりましょう。まず相談したい事柄の概要を簡潔に話し、そのあとに詳細を述べる形がよいでしょう。

相談には、内容に最も精通した人が行きましょう。



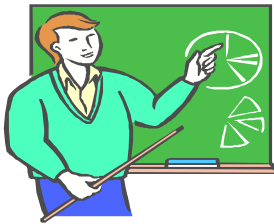
問題に直接携わっている人が相談に行くのが一番です！

まず自社の事業内容や現状等を簡潔に説明しましょう。



製品やパンフレットを使い、具体的にわかりやすく！

資料やデータなどを用いて説明しましょう。



図面、写真、実物などを用いて説明するとわかりやすくなります。  
データを用いることも忘れずに。

当たり前だと感じていることも説明しましょう。

当たり前と思っていることが、実は勘違いということもあり得ます。

相談に関する情報は出し惜しみせずに、すべてオープンにしましょう。

他に知られたくない守秘事項は、その都度先生に伝え、他へは漏らさない旨の確認をするようにしましょう。

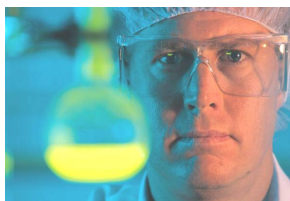
相談内容や質問内容をあらかじめメモしておきましょう。

事前に相談内容をメモして先生に渡すなどの工夫をすると、話がスムーズに進みます。

質問は明瞭・簡潔に行いましょう。

単に「良い物があったら紹介してください」といった漠然とした話には対応できません。また、自分の技術・アイデアに陶醉し、これを活かす方法を考えてほしいという相談にも、原則として応じていません。

**先生の説明でわからない事があったら、その場ではっきりと確認しましょう。**



先生は、相談者にある程度の基本的かつ専門的な知識があると思って話すケースが多く見受けられます。わからないことはその場ではっきり聞くことが大切です。

**コストやタイムスケジュールなど、事業者の希望ははっきりと伝えましょう。**

製品開発コストやタイムスケジュールは研究者サイドの課題にはなりにくいので、希望ははっきり伝えましょう。

**先生からのアドバイス等は、メモに必ず残しておきましょう。**



人の記憶はアテにならない場合が多いので、メモを必ずとりましょう。

**参考となる書籍等があれば、紹介してもらいましょう。**

参考文献を手に入れると、あとあと対応しやすくなります。

**先生と相談内容がマッチしなかった場合は、適切な研究者を紹介してもらいましょう。**

先生のネットワークを利用すると、ぴったりマッチした研究者を紹介してもらえる可能性が高まります。

**継続して先生に相談していきましょう。**

継続して指導を受けていくことが成功の秘訣です。

相談費用は、原則無料です。また共同研究費用などは、その分担割合や研究内容により異なりますので窓口等で確認しましょう。

## 5 産学官連携を推進している研究会

中小企業が産学官連携をスタートさせるきっかけづくりとして、産学官連携を促進する目的で組織された研究会等に入会してみることをお勧めします。  
ここではその一部を紹介します。

### (1)財団法人長野県テクノ財団

県内5圏域にある長野県テクノ財団の各地域センター(善光寺バレー・浅間テクノポリス・アルプスハイランド・諏訪テクノレイクサイド・伊那テクノバレー)では、産学官連携による各種研究会が発足しています。これらの研究会活動に参加していただくと、産学官連携に対する理解をさらに深めていただくことができます。

【財団法人 長野県テクノ財団に関するお問い合わせ】

〒380-0928 長野市若里 1-18-1 (長野県工業技術総合センター3F)

TEL.026-226-8101 FAX.026-226-8838

URL: <http://www.tech.or.jp/> (各地域センターには、このホームページからリンクしています。)

E-Mail : [techno@tech.or.jp](mailto:techno@tech.or.jp)

### (2)信州大学地域共同研究センター(CRC)協力会

CRCは信州大学の産学官連携窓口として地域行政や民間企業等と連携して、地域科学技術の発展や人材育成に取り組み、同時に大学の活性化を図っています。

このセンターの活動支援を目的に、地域企業七十数社の協力会が発足しています。会員の皆様には、信州大学の保有する研究シーズを優先的に紹介するほか、各種研修会・講演会・交流会等のご案内を実施しています。

【信州大学地域共同研究センター協力会のお問い合わせ】

〒380-8553 長野県長野市若里4丁目17番1号

信州大学 地域共同研究センター

Tel: 026-269-5620 Fax: 026-269-5630

URL: <http://www.crc.shinshu-u.ac.jp/>

E-Mail: [office2@crc.shinshu-u.ac.jp](mailto:office2@crc.shinshu-u.ac.jp)

### (3)上田市産学官連携支援施設(A R E C)

「AREC(エイレック)」は信州大学繊維学部構内にある上田市の産学官連携支援施設で、ここを核にした産学連携組織の法人会員の集まりである「ARECプラザ」があります。現在、県内企業を中心に 170 社に加入いただいています。また、貸出し用研究施設(シェアタイプ 23,000 円 / 月(12 m<sup>2</sup>) 専有 67,000 円 / 月(40 m<sup>2</sup>))もあります。

JANBO Awards 2004新事業創出機関賞受賞 / 日本新事業支援機関協議会  
平成16年度中小企業組織活動懸賞レポート本賞受賞 / 財団法人商工総合研究所

【AREC に関するお問い合わせ】

〒386-8567

長野県上田市常田3 - 15 - 1 信州大学繊維学部内AREC

TEL:0268-21-4377 FAX:0268-21-4382

E-Mail: arec2@arecplaza.or.jp (担当 : 岡田)

### (4)ライフサイエンス研究会

これからの長寿・福祉社会を支えるための医療機器、介護機器、福祉機器等の効率的な研究開発を推進するため、信州大学医学部を中心とした産学官の情報交換・交流の場として、ライフサイエンス研究会があります。

当研究会では、定例研究会の開催や信州大学医学部教員および参画関連教員への技術相談時の付加サービス提供等を行っています。また、広く一般の皆様を対象とした「医工連携交流会」、「医農連携交流会」、「シーズとニーズのマッチング交流会」等も随時開催しています。

長野県内外を問わず、企業であればどなたでも会員になることができます。入会は随時受け付けていますので、下記事務局までお問い合わせください。

【ライフサイエンス研究会事務局】

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

信州大学 医学部知的財産活用センター内

Tel: 0263-37-3421 Fax: 0263-37-3425

URL: <http://www.lifescience-shinshu.com/index.html>

E-Mail: [kenkyukai\\_info@lifescience-shinshu.com](mailto:kenkyukai_info@lifescience-shinshu.com)

## (5) 国立長野高専 地域共同テクノセンター

地域企業と国立長野高専との連携をより一層強化する目的で設置された拠点施設で、高度加工実験設備、3次元CAD・CAEシステムなどの実験・開発設備の他、80人収容のセミナー室があります。

「国立長野高専と地域企業が共に」をキーワードに掲げ、ここを核にした産学連携法人・個人の組織である「長野高専技術振興会」と本校産学交流室が協力して、本校教職員と地域企業の共同研究、起業化事業などを支援しています。約150企業・法人・個人の長野高専技術振興会会員を対象に、各講習会・セミナー及び技術相談会などを定期的に行なっており、また、広く地域企業からのご相談に随時お応えしています。

【長野高専地域共同テクノセンターのお問い合わせ】

〒381-8550 長野市徳間 716

TEL.026-295-7117 FAX.026-251-7124

URL : <http://www.tec.nagano-nct.ac.jp/>

E-Mail : [tech-c@nagano-nct.ac.jp](mailto:tech-c@nagano-nct.ac.jp)

## (6) 長野県工業技術総合センター

長野県工業技術総合センターでは、県内企業の技術力向上を目的に、精密加工技術、製品設計技術、食品加工技術など各種技術分野に特化した研究会を多数運営しています。詳しい内容につきましては、下記ホームページでご覧いただくか、工業技術総合センターまでお問い合わせください。

【研究会紹介のホームページ】

URL : <http://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/> (各部門のページをご覧ください)

上記ホームページから見たい研究会をクリックすると、事業内容、連絡先などがわかります。研究会によっては、自身のホームページへリンクしています。

【長野県工業技術総合センターへのお問い合わせ】

〒380-0928 長野市若里1-18-1

TEL.026-268-0602 FAX.026-291-6243

URL : <http://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/>

E-Mail : [gijuren@pref.nagano.lg.jp](mailto:gijuren@pref.nagano.lg.jp)

## 6 産学官連携が可能な技術開発テーマ

各大学等の技術開発に関するテーマは、下記のホームページで紹介されています。

### (1) 信州大学

<http://www.shinshu-u.ac.jp/>

上記ホームページの「教育研究」「研究協力」に進み、「研究者総覧」または「研究協力情報」をクリックして、ご覧ください。先生とその研究内容などがわかります。

### (2) 諏訪東京理科大学

[http://www.suwa.tus.ac.jp/collabo/s\\_gaiyo.htm](http://www.suwa.tus.ac.jp/collabo/s_gaiyo.htm)

上記のホームページから「研究者情報」をクリックして、先生の研究内容をご確認ください。

### (3) 長野工業高等専門学校

<http://www.nagano-nct.ac.jp/>

上記のホームページから「企業の皆様へ」をクリックしますと、学科紹介に専任教員の専門分野等が紹介されています。

### (4) 長野県工業技術総合センター

<http://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/>

上記ホームページから「研究紹介」をクリックし、研究テーマ一覧のところから部門を選択すると、研究テーマや概要が詳しく紹介されています。

### (5) 長野県工科短期大学校

<http://www.pit-nagano.ac.jp/index-j.html>

上記のホームページから、「学校案内」「教員紹介」の順にクリックすると、先生と研究テーマの内容が詳しく紹介されています。

## 7 大学主催のセミナー・イベント等の情報

各大学がそれぞれホームページで紹介していますので、産学官連携に関する各種イベント情報やセミナーなどの内容をご確認ください。

## 8 産学官連携の例

### (1) 双方向テレビ会議システムを利用した企業内研修と技術相談

身近に技術相談窓口がない中小企業の皆さんに技術相談やセミナーが気軽に受けられるよう、長野工業高等専門学校では、下諏訪商工会議所内に設けた長野高専地域共同テクノセンターサテライト分室と双方向テレビ会議システムを利用してセミナーを開催しています。これまで行われた講演内容は

高専の学生と企業の技術者に期待する

機器開発と実用化への夢……医療機器開発を通して

音環境のバリアフリー・ユニバーサルデザイン

など、企業にとって魅力ある話題を提供しています。

また、このシステムでは高専講師への技術相談も可能で、わざわざ長野まで出かけなくても気軽に相談できることが特徴になっています。

このほか企業の求めに応じて、魅力あるトピックス等をテーマとして講師を派遣するなど、当分室は今後の地域密着型産学官連携のパイオニアとして期待されています。

### (2) 大学のセミナーに参加し、企業の経営課題や技術相談、共同研究を行う

M社は、永年にわたる素材の研究開発の結果、開発した新素材が市場でなかなか認知されず、この素材を応用した商品の少なさや商品の販売が伸び悩んでいる状況に危機感を抱いていました。

新しい市場を開拓していくうえでネックとなっているのは、市場での会社の認知度とともに、開発した素材の良さを多くの人にご理解いただいていないことが原因です。そのためにはどうしたらいいのかということはずいぶん考えました。

様々な情報収集を行った結果、産学官連携による大学や研究所への試験依頼を通じて先生から新素材の推薦をいただき、これを商品への利用や販売に使う計画を立てました。

この計画の一環として、T大学主催の研究会に入会し、そのセミナーに出席しました。目的は、当社の素材を利用した製品が健康によいということ、科学的データに基づいて証明してくれる専門の研究者を紹介してもらうことにあります。国内トップの大学や国立研究所の研究者がM社の技術を高く評価してくれれば製品に利用する企業が増えると期待したからです。

セミナー終了後に、T大学の先生にこの事業に関する会社側の希望を伝え、先生から全国の研究者や専門家を多数ご紹介いただきました。

現在、社では開発した素材の科学的な評価を国内トップの多くの研究者に依頼しています。また、素材を利用した製品開発についても研究者と共同研究も行っています。

この産学官連携を行った結果、社の素材や製品の認知度は市場において徐々に高まり、営業努力と相まって大手航空会社などでもこの素材を利用した製品を利用するなど、普及がかなり進んできています。

### (3)大学の研究成果(特許)を活用し事業化、起業化を行う

株式会社信州 TLO は、国が承認した TLO(Technology Licensing Organization)で、信州大学繊維学部内にある本社(上田市)及び県内4拠点を中心にして、県内大学や長野工業高等専門学校等の「知(知的資産)」をダイレクトに「産(産業)」に結びつけ、新事業化や起業化を促進させる事業を行っています。

単に大学や高専等の「知」を地元の産業や社会に伝達するのではなく、一歩進めて地元企業の置かれている状況を深く理解したうえで、最適な形で知的資産を活用できるよう、付加価値をつけたサービスを提供しています。

信州 TLO の会員になると、特許出願情報が優先的に開示されるほか、特許の取得とライセンスや信州大学、長野高専等の研究・技術情報の提供、共同研究等の斡旋、研究者等との交流など、数多くの支援を受けることができます。

大学等にはバイオ・薬品・医療分野、電子部品・光デバイス・材料分野、光通信・ソフトウェア・ネットワーク分野など各分野にわたる多くの特許があります。

これらの豊富な知的財産(特許、技術ノウハウなど)を有効活用して、研究開発の効率化・リスク低減を図り事業化・起業化を行う企業が今後ますます増えていくものと思われます。

信州 TLO ホームページ <http://www.shinshu-tlo.co.jp/topics/>

#### (4)大学に試験・分析を依頼する

確実に進むシニア社会への道。現代医療の世界では、医薬品や医療機器などは格段に  
進歩しながらも、「感染症対策」といった古くて新しい課題に悩まされ続けています。

また現代の住環境は、特に都市部を中心に高気密化が進んでいます。室内では、空調  
設備により四季を問わず快適さを可能にしている反面、花粉症やアトピー性皮膚炎といった  
アレルギー症に悩む人が増加しています。また新築・改装などではシックハウス問題がク  
ローズアップされ、いずれの場合も抵抗力の弱い子供たちやお年寄りの健康被害が多く見  
られます。

株式会社信州セラミックスでは、こうした皆さんがアレルギー治療のためさらに別の投薬  
にたよるという「悪循環」をどこかで断ち切る方法はないものかと考えました。

同社で永年培った技術により製品開発を進めた結果、「光ハイブリッド触媒」という、それ  
自体は変化せずに相手の化学反応を速める物質を使い、接触した有機物を分解して焦熱  
させる力を利用して細菌やウィルス、カビなどを分解する効果のある新たな素材を開発しま  
した。抗菌・消臭効果の高い製品により、毎日の生活を快適に過ごせることが可能となりま  
す。

製品開発に当たっては、本当に細菌やウィルス、カビなどに対する抗菌・消臭作用があ  
るかどうかの分析を大学の医学部に依頼し、その効果を実験等で検証していただきました。

現在この素材は様々な用途に用いられていますが、病院では環境にやさしい「抗菌・消  
臭カーテン」として使われており、病院関係者の皆さんや患者さんからも好評を頂いており  
ます。

またこのほか、抗菌・消臭効果のある素材を利用した次世代の旅客機シートカバーとして  
全日空の新しい座席にも採用され、今後も多方面での利用がますます期待されています。

#### (5)学生にモニターや市場調査を依頼する

F社はおみやげのお菓子を製造しているメーカーですが、若い女性向けのおみやげ商品  
を開発していました。お菓子の試作品は出来上がったのですが、味や形が今の若い女性た  
ちに受け入れられるのかどうか不安でした。

そこで社員が1週間、駅前商店街でモニター調査を行おうとしましたが、若い女性はあま  
り通りません。このため、どうしたらよいか思案を重ねていたところ隣町に M 女子短期大学  
があることを思い出しました。さっそく大学に連絡したところ快諾をいただき、学生のモニタ  
ー調査をお願いすることができました。モニターは栄養学科の先生や学生さんが担当してく  
ださったため、味や形だけでなく栄養価の面からも、先生のアドバイスをいただくことが出来  
ました。

学生さんは全国各地から入学されており、サンプル数はそれほど多くないにしても地元出身の学生さんだけの評価ではなかったのが、大変心強いデータやアドバイスをいただくことができたと思っています。

## (6) 長野県工業技術総合センターに相談する

S社は、ペルチェ素子(電流により吸熱、発熱、温度制御を行うことができる半導体素子)の応用技術を核として、電子冷凍機器等の開発・製作を行うために設立されたベンチャー企業です。当社では、新しい高性能DNA増幅装置の開発アイデアを持っていましたが、自社では、温度を変化させることによるサンプルホルダーの変形をシミュレーションしたり、DNA増幅装置のユーザーのニーズを集めたりすることができませんでした。

そこで長野県工業技術総合センターに相談した結果、信州大学繊維学部の研究者を紹介してもらい、DNA増幅装置を使用する立場での必要な基本的仕様についてその研究者から助言いただきました。また、センターの材料技術部門が最適構造設計支援装置を用いて熱応力等のシミュレーションを行って最適な基本構造設計を行い、その試作品については、センターの食品技術部門が食品関連微生物のDNA増幅に使用して性能を評価することで一貫した研究体制を構築することができました。

## 9 相談窓口

産学官連携全般のお問い合わせ先

### 長野県商工労働部経営支援課 経営支援係

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2 <http://www.pref.nagano.lg.jp/>

026-235-7195 ファックス 026-235-7496 E-mail keieishien@pref.nagano.lg.jp

【特に技術分野でのお問い合わせは】

### 長野県工業技術総合センター 技術連携部門

〒380-0928 長野市若里1-18-1 <http://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/>

026-268-0602 ファックス 026-291-6243 E-mail gijuren@pref.nagano.lg.jp

地方事務所へのお問い合わせ先

佐久地方事務所	商工観光課	0267-63-3158
上小地方事務所	商工観光課	0268-25-7141
諏訪地方事務所	商工観光課	0266-57-2922
上伊那地方事務所	商工観光課	0265-76-6829
下伊那地方事務所	商工観光課	0265-53-0432
木曾地方事務所	商工観光建築課	0264-25-2228
松本地方事務所	商工観光課	0263-40-1933
北安曇地方事務所	商工観光建築課	0261-23-6523
長野地方事務所	商工観光課	026-234-9528
北信地方事務所	商工観光課	0269-23-0219

起業相談のお問い合わせ先

**(財)長野県中小企業振興センター 経営支援部**

〒380-0928 長野市若里1-18-1      026-227-5028      ファックス 026-227-6086

E-mail : [info@icon-nagano.or.jp](mailto:info@icon-nagano.or.jp)

上記の支援機関のほか、お近くの商工会、商工会議所でもご相談を承っています。お気軽にご相談ください。

県内大学、短期大学の相談窓口

信州大学 地域共同研究センター

〒380-8553 長野市若里 4-17-1 026-269 - 5620

<http://www.crc.shinshu-u.ac.jp/>

E-mail : tech-soudan@crc.shinshu-u.ac.jp

信州大学 イノベーション研究・支援センター

〒380-8553 長野市若里 4-17-1 026-269 - 5690

<http://www.im.shinshu-u.ac.jp/~center/>

E-mail : center@im.shinshu-u.ac.jp

長野大学 総務課

〒386-1298 上田市下之郷 658-1 0268 - 39 - 0001

<http://www.nagano.ac.jp/>

E-mail : webmaster@nagano.ac.jp

松本歯科大学 庶務課

〒399-0781 塩尻市広丘郷原 1780 0263-52-3100

<http://www.mdu.ac.jp/index.html>

E-mail : info\_shomu@po.mdu.ac.jp

諏訪東京理科大学 事務部庶務課

〒391-0292 茅野市豊平 5000-1 0266-73-1201

[http://www.suwa.tus.ac.jp/collabo/s\\_gaiyo.htm](http://www.suwa.tus.ac.jp/collabo/s_gaiyo.htm)

E-mail : koho\_suwa@admin.tus.ac.jp

松本大学〔松商短期大学部〕総合経営学部

〒390-1295 松本市新村 2095-1 0263-48-7200

[http://www.matsumoto-u.ac.jp/matsumoto\\_u/index.html](http://www.matsumoto-u.ac.jp/matsumoto_u/index.html)

E-mail : www@matsu.ac.jp

清泉女学院大学 学生部学生課

〒381-0085 長野市上野 2-120-8 026-295-5665

<http://www.seisen-jc.ac.jp/society/index.htm>

E-mail : gakuseibu@seisen-jc.ac.jp

長野県看護大学 事務局

〒399-4117 駒ヶ根市赤穂 1694 0265-81-5100

<http://www.nagano-nurs.ac.jp/>

E-mail : kangodai-jimu@pref.nagano.lg.jp

長野県短期大学 事務局

〒380-8525 長野市三輪 8-49-7 026-234-1221

<http://www.nagano-kentan.ac.jp/>

E-mail : [tandai@pref.nagano.lg.jp](mailto:tandai@pref.nagano.lg.jp)

飯田女子短期大学 生涯学習センター

〒395-8567 飯田市松尾代田 610 0265-22-4467

<http://www.iidawjc.ac.jp/>

E-mail : [syougai@iidawjc.ac.jp](mailto:syougai@iidawjc.ac.jp)

長野女子短期大学 事務局

〒380-0803 長野市三輪 9-11-29 026-241-0308

<http://www.nagajo-junior-college.ac.jp/>

E-mail : [nagajo@nagajo-junior-college.ac.jp](mailto:nagajo@nagajo-junior-college.ac.jp)

清泉女学院短期大学 学生部学生課

〒381-0085 長野市上野 2-120-8 026-295-5665

<http://www.seisen-jc.ac.jp/society/index.htm>

E-mail : [gakuseibu@seisen-jc.ac.jp](mailto:gakuseibu@seisen-jc.ac.jp)

信州豊南短期大学 事務局

〒399-0498 上伊那郡辰野町中山 72 0266-41-4411

<http://www.honan.ac.jp/>

E-mail : [office@honan.ac.jp](mailto:office@honan.ac.jp)

信州短期大学 総務部

〒385-0022 佐久市岩村田 2384 0267-68-6088

<http://www.shintan.ac.jp/>

E-mail : [gakuen@shintan.ac.jp](mailto:gakuen@shintan.ac.jp)

長野工業高等専門学校 地域共同テクノセンター

〒381-8550 長野市徳間 716 026-295-7117

<http://www.tec.nagano-nct.ac.jp/>

E-mail : [tech-c@nagano-nct.ac.jp](mailto:tech-c@nagano-nct.ac.jp)

長野県工科短期大学校 事務局

〒386-1211 上田市下之郷 813-8 0268-39-1111

<http://www.pit-nagano.ac.jp/index-j.html>

E-mail : [kokatankidai@pref.nagano.lg.jp](mailto:kokatankidai@pref.nagano.lg.jp)

**【お問い合わせ先】**

このページに関するご質問及びご意見は、経営支援課まで、メールもしくは下記にご連絡ください。

<p><b>商工労働部経営支援課経営支援係</b> 〒 380-8570 (住所不要) 026-235-7195 / Fax 026-235-7496 E-mail keieishien@pref.nagano.lg.jp</p>
---

[県庁舎案内](#) | [電話・メールアドレス一覧](#) | [個人情報について](#) | [リンクについて](#)

Copyright Nagano Prefecture.All Rights Reserved.

各ページに掲載の写真・音声・CG 及び記事の無断転載を禁じます。